

未来を拓く京都の集い「日本人の忘れもの 知恵会議」

# 日本人の忘れもの 知恵会議

日本人の忘れもの 知恵会議  
平成27年10月28日(木)  
京都新聞文化ホール  
主催＝京都新聞

「忘」＝筆 森清範 清水寺住持

■基調提言  
井上章一 国際日本文化研究センター 副所長  
通崎陸美 木琴・マリンパ奏者

井上●上海では、従来の上海語を話す人が減り、北京語が席巻しています。ビジネスチャンス求めて中国全土、あるいは海外から集まってくる人たちの多くは共通語として北京語を使うからです。急激な経済成長が地域固有の言語を追いやるのならば、関西経済の活性化はボチボチでいいのかもしれません。

明治以降、日本の近代化・国際化の窓口が東京に移った影響は計り知れません。祇園で芸妓や舞妓を見た外国人観光客が口にするのは関東流の「アゲイシャ」です。関西で「きい



井上章一氏 通崎陸美氏

ひん「けんえん」だった「来る」の否定形を、カ行変格活用をたまたまできた世代は「こうへん」と言います。言語学的には興味深い変化ですが、「抹の寂しさも覚えます。私が語れないのは「七」の読み方です。地元では、七条、上七軒を「ひちじょう」「かみひちけん」として親しんできたのに、今や電車に乗ると「しちじょう」とアナウンスされ、街で見かけ地名のローマ字表記も「Kanshichuan」です。四条との混同を避

## 井上氏 日本人が忘れかけていた 手作りの暮らし 他者にとらわれない 独自の豊かさの軸を持つ

け、七条を「ななじょう」と呼ぶところも出てきましたが、地名が軽んじられているような気がしてなりません。

通崎●京都生まれといっても、うちはまだ私で4代目です。家には、「種だった祖父が初めて足袋をはくのを許されたとき記念に撮った写真が残っています。主人の許しがないと足袋もはけない時代があったことを、私はその写真から知りました。現代流に言ってもそれは格差社会ということなのでしょう、うちでは、己の立場をわきまえて生きていくこ

# 暮らしを楽しむ。次世代に伝える 日本のこころ

### ■デスカッション

家々から聞こえてくる音  
小山青山●最近路地を歩いていると昔のよう



小山青山氏



村山 明氏



木下博夫氏



宇津崎光代氏

- 【日本人の忘れもの 知恵会議】10月28日：出席者 (50音順)
- 井上章一 国際日本文化研究センター 副所長
  - 上村多恵子 京南倉庫株式会社 代表取締役
  - 宇津崎光代 セズリング 会長
  - 浦沢美奈 フラワーコーディネーター (ブーゼ代表)
  - 江里康彦 仏師
  - 大河内徹心 株式会社京都西川 代表取締役
  - 川底英之 キリンビールマーケティング株式会社 京滋支社業務担当部長
  - 木下朋和 アサヒビール株式会社京滋統括支社 業務部課長補佐
  - 木下博夫 公益財団法人国立京都国際会館 館長
  - 久保浩史 公益財団法人日本漢字能力検定協会 代表理事 理事長
  - 桑原仙溪 桑原専康家元
  - 小西 均 日本写真印刷株式会社 常勤監査役
  - 小山勝二 京都大学名誉教授
  - 小山青山 尺八演奏家
  - 小川勝二 サッポロビール株式会社京滋支社 副支社長
  - 児玉菊雄 公益財団法人奈良屋記念杉本家財団 学芸部長
  - 杉本歌子 株式会社京都西川 営業企画管理事業部取締役事業部長
  - 高階壽史 株式会社京都西川 営業企画管理事業部取締役事業部長
  - 田中恵厚 宝鏡寺門跡
  - 田中峰子 西陣暮らしの美術館「富田屋」代表
  - 通崎陸美 木琴・マリンパ奏者
  - 桑めぐみ 京都楽家主宰
  - 久 智子 日本新薬株式会社 広報部広報課課長補佐
  - 深見 茂 祇園祭山鉦連合会 顧問
  - 福永法弘 株式会社京都ホテル 代表取締役社長
  - 星由里子 女優
  - 村橋聖一 ジュエリー作家
  - 村山 明 一般財団法人京都伝統技術協会 管理運営士
  - 山口富藏 木工芸家
  - 内田 孝 御菓子司「末富」当主
  - 京都新聞総合研究所 所長

といわれて久しいのに、これが私たちの夢見た生活なのかと首をかしげてしまいます。

### 古きものの良さを取り入れる

村山明●ほんまのものがうかというところで言えは、この会場で天然木の家具はあまりありません。今は家庭や学校でもほぼ同じ状況です。表面に木目を印刷加工したフクロ合板や、表面にだけ木目を使ったフラッシュ構造と呼ばれる中空の板材は、大量の木材を安価に提供するため、日本では1960年ごろ間次されました。材料も道具でも新製品を使いこなせるまでには大変です。これからの時代に大事なことは、ほんまものを認識しながら、新しいものに古いものの良さを上手に取り入れていくことだと思います。

### 京都の生活様式の知恵を現代に

木下博夫●国交省は、低騒音舗装の敷設や速音壁の設置など騒音低減に努めています。改造車の爆音を立てて走っているのは事情が台なものです。改造車に対する取り締まりを京都はもっと強化してもいいのではないのでしょうか。

### 「住育」を京都から発信

宇津崎光代●教師から家造りの世界に転職し、生活者の視点で暮らしを考え、実際・検証を重ねてきました。住まいは人間形成の場だからこそ、戸建て・マンションにも自然素材の地元産の杉や檜の丸太を使います。普段の暮らしを大切にするには、住まいや暮らし方について、子どもの頃から知識や考える習慣を身に付けさせることが必要だと思います。「衣食住」を大切にする京都から、自然に親子のコミュニケーションがとれるよう「住育」



田中峰子氏 杉本歌子氏 福永法弘氏 桑原仙溪氏

とが大切だと教えられて育ちました。井上●私は子どものころ長屋住まいだったので、1960年ローマ五輪のテレビ中継は大家さんの家で見せてもらいました。電話もよく借りていましたが、好意に甘んじると罵詈雑言とは思っていませんでした。けれども、みんなが身の程をわきまえた暮らしを守ったなら、テレビや電話機の国民的な売り上げはありえず、戦後日本の高度成長はなかったでしょうね。

通崎●着物でも、生地を染めるところからの読み身していた時代には、お金があっても依頼主に教養やセンスがなければ、いいものは出来上がりませんでした。機械化、工業化が進み、センスはともあれお金さえ出せば誰でも入手できる製品が増えた。「お金持っか、わかりやすすくなつた」ということでしょうか。それで、働いて収入を増やそうという張り合いも生まれたのかもしれません。

井上●家造りも同じです。数寄屋建築の名工・中村外二棟梁(故人)に家建ててもらったのは無理でも、住宅メーカーの手が届くかもしれないと考えようなのですね。日曜大工が日常的な欧米では、自宅を改装した家具を作ったり、もつと気遣いのづくりを家に入れていきます。日本では、ハウスメーカー住宅が普及しすぎたおかげで、手作りの楽しみが忘れられているのかもしれない。

通崎●私は倉庫として手に入れた自宅近くの長屋を改装しました。たまたま近所で大正期の建物が解体されると知り、もったいないと建物の部材を譲っていただいたので大々的な工事にになりました。工事を請け負ってくれたのは、芸大の美術学部を出た友人たちです。長い工事期間、作り上げる過程を十分に楽しみました。工事中から近所とのコミュニケーションの大切さも実感しました。

井上●残念ながら、通崎さんが持つておられる人の輪のようなものを現代人が多くは持っていません。今はインターネットがあるとはいえ、人材探しからすると心と時間にかかりやすい。通崎●確かに、誰にもお助めできることではありません。実は、分けていただいた建具は長屋には立派すぎて、結局は建具に合わせた家を造り直しました。木製なのでアルミサッシと比べると気密性や防犯面でも劣ります。

田中峰子●西陣で築1300年の店舗兼住宅を公開しながら伝統的な暮らしを今も続けています。京都では暮らしそのものが文化です。国登録有形文化財の指定を受けた建物だけでなく、西陣の歴史や、やおよろずの神さんや、共に暮らししてきた京町家のありようを後世に伝えたいと願い、お火焚きや亥の子餅を、四折々の暮らしも体験していただいています。最近は海外からのお客さまが増えていま

として発信していきたいと思っています。

京都では暮らしそのものが文化  
田中峰子●西陣で築1300年の店舗兼住宅を公開しながら伝統的な暮らしを今も続けています。京都では暮らしそのものが文化です。国登録有形文化財の指定を受けた建物だけでなく、西陣の歴史や、やおよろずの神さんや、共に暮らししてきた京町家のありようを後世に伝えたいと願い、お火焚きや亥の子餅を、四折々の暮らしも体験していただいています。最近は海外からのお客さまが増えていま

福永法弘●俳句の季語を集めた歳時記の解説を書いたことがあります。当時、私を含めた執筆者の多くが東京在住でしたが、旧暦5月に上賀茂神社(京都市北区)で行われる「競馬」が夏の季語であるなど、京都における季節の移ろいが基準となつていきます。俳句の大御所・高浜虚子以来の伝統ということもありますが、東京では失われた季語が京都の暮らしの中にはまだ残っているからです。京都に不要までは望みませんが、松尾芭蕉の言葉「不易流行」であつてほしいと願っているのは私だけではないはずです。

旧暦を意識し、感受性を養う  
桑原仙溪●年中行事や農作業は本来、太陰太陽暦(旧暦)で行われていたものです。旧暦は、月の満ち欠けを基準にした太陰暦に、太陽の動きを基に決めた二十四節気を取り入れたものでした。明治政府が太陽暦に改暦したことで約1カ月のずれが生じ、旧暦の日付のまま行事を行うと、季節のうつろいを肌で感じにくくなつてしまいました。旧暦に戻すのは難しいとしても、暮らしの中に旧暦を取り入れ、自然の変化を楽しむようにすることで感受性が養われ、地に足のついた文化を取り戻せるのではないのでしょうか。

暮らしの細部に宿るもの。京都ゆかりの発言者の言葉を読めると、表現は異なっても日常の「コマ」コマに生きるための知恵とヒントが顔をのぞかせていることがわかります。受け止める方は、みなさんに委ねられるでしょう。来年は「日本人の忘れもの」がスタートして5年、東日本大震災から5年。京都を含めたこの国全体で、暮らしのあり方を考えることが求められています。私たちは今回の議論を、さらに次回につなげていきます。



現代の日本が忘れてきたもの、次世代に伝えていくべきものは何かを議論する会員たち

## 私たちは「日本人の忘れもの 知恵会議」に 参画しています。

- アサヒビール株式会社 京滋統括支社
- 石清水八幡宮
- ウエスティン都ホテル京都
- 裏千家 今日庵
- N T T西日本 京都支店
- 株式会社 オンリー
- 柿本商事株式会社
- 京懐石 美濃 吉
- 京セラ株式会社
- 株式会社 京都銀行
- 京都産業大学
- 京都中央信用金庫
- 株式会社 京都東急ホテル
- 株式会社 京都西川
- 株式会社 京都ホテル
- 清水寺
- キリンビールマーケティング株式会社 京滋支社
- 株式会社 きんでん 京都支店
- 月桂冠株式会社
- 佐川印刷株式会社
- サッポロビール株式会社 京滋支社
- サントリー酒類株式会社 京都支店
- ジーク株式会社
- 株式会社 進々堂
- 親友会グループ
- 御池クリニク
- 中之島クリニク
- 四条烏丸クリニク
- 島原病院
- 薬師山病院
- 成基コミュニケーショングループ
- 総本山 醍醐寺
- 学校法人 大和学園
- タキイ種苗株式会社
- 武田病院グループ
- 長楽館
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 同志社大学
- 株式会社 トーセ
- ニチコン株式会社
- 日本新薬株式会社
- 公益財団法人 日本漢字能力検定協会
- 日本写真印刷株式会社
- 日本たばこ産業株式会社
- 野村證券株式会社 京都支店
- 株式会社 パールトーン
- 株式会社 福寿園
- 富士ゼロックス京都株式会社
- 舞妓の茶本舗
- 彌栄自動車株式会社
- 学校法人 立命館
- ローム株式会社
- 株式会社 ワコール
- ワタキューセイモア株式会社

(50音順)